



認定こども園

五所川原こども園

0173-34-2654

主題: いっしょに

9月の聖句: 見失った羊を見つけたので、一緒に喜んでください ルカによる福音書 15章6節

9月のねがい: 1、礼拝の中で神さまとのつながりを感じ、祈りや賛美の喜びを分かち合い、心が満たされる

2、友だちと意思を出し合い、力を合わせて活動や遊びを進め、イメージを広げていくことを楽しむ

3、夏から秋へと移り変わる自然の中で心を開放し、戸外で体を十分に動かす心地よさと躍動感を楽しむ

今月の聖句は、イエスさまが話された「見失った羊のたとえ」の中の一節です。百匹の羊を所有している人が、そのうちの一匹を見失ったとき、どうするだろうか?とイエスさまは問いかけます。残り九十九匹がいるから、そのうちの一匹がいなくなったとしても大したことはないのか、どうなのか、ということです。百分の一、1%の損失、現代社会における製造業でも損失0ということは無いかもしれませんが。この社会には、「やむを得ない損失」ということが存在するものです。しかし、この羊の所有者は、見失った一匹を「やむを得ない損失」として許容することが出来ません。その一匹は「愛されている」存在。百分の一という数字に還元できるようなモノではなかったのです。この所有者は、羊が百匹そろっていることを喜ぶ人なのです。そして、この所有者こそが神さまなのです。このたとえ話のあとに、「無くした銀貨のたとえ」も書かれています。10枚の銀貨のうちの1枚を無くしたらどうする?という事です。同じように探し、見つかったら大喜びするのです。銀貨であれば更に分かりやすくなります。銀貨は同じ価値のものだからです。羊よりも更に分かりやすくなります。私たちの本当の所有者である神さまにとって見れば、誰が上とか下とか、価値があるとか無いとか、そういう区別はありません。どんなに立派な行いをして地位や名誉を手にしたエリートも、社会の片隅で小さくなって生きる人たちと全く同じ価値をもつ存在なのだとということです。どのような人であっても、神さまの目には等しく尊い存在なのです。自分に価値がない、何の取り柄もない、そんなふうに自分を卑下する必要はありません。神さまに同じように愛されている一人ひとりであり、もし、見失ったら見つかるまで探してもらえて、見つかったら大喜びしてもらえる存在なのです。神さまに喜ばれる存在である私たち。このことを覚えていてください。このことを知っていれば、私たちはもう少し自分を大切に、そして相手を思いやることができるようになるかもしれません。

9月の予定

2日(水) パピコアート教室

(たんぽぽ組・すみれ組・ちゅうりっぷ組)

3日(木) パピコアート教室

(ひまわり組)

10日(木) 年長スペシャル②

17日(木) お誕生会

24日(木) 水害避難訓練・職員会議

26日(土) あきまつり・参観日



○水害避難訓練

● 9月1日は防災の日です。園では毎月避難訓練を行っています。

● いざというときに、落ち着いて子どもたちを避難させられるよう

● 避難経路や避難場所などの確認をしています。

● 9月は台風の接近や、豪雨の為に水害が発生したことを想定しての訓練をします。



○保育参観日・あきまつり

日時: 9月26日(土) 9時~11時頃終了予定

服装: 浴衣、甚平、普段通りの服装でもいいです。

日程: 9:00~10:00 保育参観 ひまわり組・ランチルーム

たんぽぽ組・すみれ組・ちゅうりっぷ組は各保育室

10:00~11:00 お店屋さんコーナー

ゲーム屋さん、くじ屋さん、アイス屋さん

ポップコーン屋さん、おばけやしき



あおいくん

さなちゃん

そうしくん

はやとくん

がくくん

いちかちゃん